



# 赤間っ子だより



5月号

令和4年4月28日  
宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

## 令和4年度赤間小学校が 目指すものとは！

令和4年度、赤間小学校を含む城山学園の教育目標は、「郷土を愛し、地域や社会に参画・貢献する児童・生徒の育成」です。宗像市全域で「小中一貫コミュニティ・スクール」が実施されることもあり、これまで以上に、家庭と地域と学校の連携が重要になります。

これからの社会の担い手となる子供たちが、自分の生まれ育った地域に誇りと愛着をもち地域の力となれるよう、基盤を形成していくこととなります。そのために、今年度力を入れていきたいのが「地域や社会とのつながりを意識し、主体的に関わること」です。

ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症の流行により、学校と家庭、学校と地域が交流をもつ機会が制限されてきました。赤間小学校で行ってきた「Jドリム学習」、総合的な学習の時間や生活科での地域の方々とのふれあい、釣川クリーン作戦や赤間宿まつり、夢灯籠祭りなどへの参画も見送られてきました。

もちろん、現時点でコロナ収束に向けた見通しがたったわけではありません。コロナ禍において、できることを模索しながらの教育活動となります。

その中核となる取組として期待を寄せているのが、「むなかた子ども大学の日」です。これは、昨年度から宗像市が取り組んでいる事業に、市内の全小学校が参画する新規事業となります。月 日（ ） 日（ ）の両日、開催されますが、小学校は 日（ ）に終日開催します。日（ ）は、希望者を対象にグローバルアリーナで開催されます。（ 日が振替休日です）今後、詳細について検討していきますが、午前中は、子供たちが学習したことを地域の方々や保護者等対象を定めて発信する場とする予定です。逆に午後は、地域の方々や保護者から子供達へ様々な体験活動を保障していただく場を想定しています。

「むなかた子ども大学の日」を核としつつ、あらゆる機会子供たちが地域や社会とのつながりを意識し、主体的に関わることができる機会の保障を目指す令和4年度の赤間小学校です。

地域の皆様や保護者の皆様の、お力添えをよろしく  
お願いいたします。



## 新メールシステム「スクリレ」について

今年度から導入しています新メールシステム「スクリレ」。欠席報告や健康観察などをスマホやPCから送信できる便利なツールです。ぜひ、有効活用していきたいところです。しかしながら、朝の時点で未報告や兄弟児で報告内容が異なるなどの状況が数件見られます。



子供への細やかな健康観察、そして確実な報告に、ご協力の程よろしく  
お願いいたします。

## ・・・5月の主な行事・・・

詳細は紙面にて  
お知らせしています。

今年度も、赤間小学校学校ホームページ「校長先生のおへや」で学校や社会に関するトピックを日々発信しています。お時間のよろしい時にご覧ください。